

DIACERT サービス **セットアップ手順書** **(USB メモリ)**

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

目次

1 はじめに.....	3
1-1 動作環境.....	3
1-2 ご注意.....	3
1-3 お問い合わせ先.....	3
2 電子証明書のインポート.....	4
3 電子証明書の内容確認.....	9
3-1 ご利用者様の氏名（ローマ字）、証明書番号を確認する場合.....	12
3-2 ご利用者様の氏名（漢字）、組織情報を確認する場合.....	13

1 はじめに

本手順書は、三菱電機デジタルイノベーション株式会社（以下、当社）の DIACERT（ダイヤサート）サービス電子証明書（USB メモリ）をご利用いただくお客様を対象としております。

本手順書は、Windows10 における電子証明書をインポートする手順をご案内しております。OS のバージョンにより画像が一部異なる場合がありますが、適宜読み替えていただきますよう、よろしくお願い致します。

電子申請、電子納税等のご利用になるシステムによっては、本手順が不要の場合があります（例、特許庁インターネット出願システム）。電子証明書を使用するための詳細な設定手順は各システムのご案内をご確認ください。

1-1 動作環境

パソコン本体、OS	Windows 10／Windows 11 をサポートしている 32bit／64bit PC／AT 互換機
CPU	Pentium 1.2GHz 同等以上推奨
USB メモリ	USB ポートタイプ： USB A-Type コネクタ インターフェース： USB 2.0 （High Speed） / USB 1.1 （Full Speed）

1-2 ご注意

USB メモリ内の電子証明書ファイルを誤って削除された場合でも、当社から電子証明書を再発行することはできません。電子証明書ファイルは削除されないようご注意ください、必要に応じてバックアップをとっていただくようお願い致します。

1-3 お問い合わせ先

セットアップに関するお問い合わせは、下記の窓口までお願い致します。

三菱電機デジタルイノベーション株式会社 DIACERT サービス ヘルプデスク

TEL 03-6771-5108

E-Mail ホームページ (<https://www.diacert.jp/contact/>) の「お問い合わせ」フォームから
送信してください。

対応時間 9:00～12:00 13:00～17:00 （当社営業日）

2 電子証明書のインポート

1. USB メモリをパソコンの USB ポートに接続します。

※ USB メモリのドライバーは自動でインストールされます。

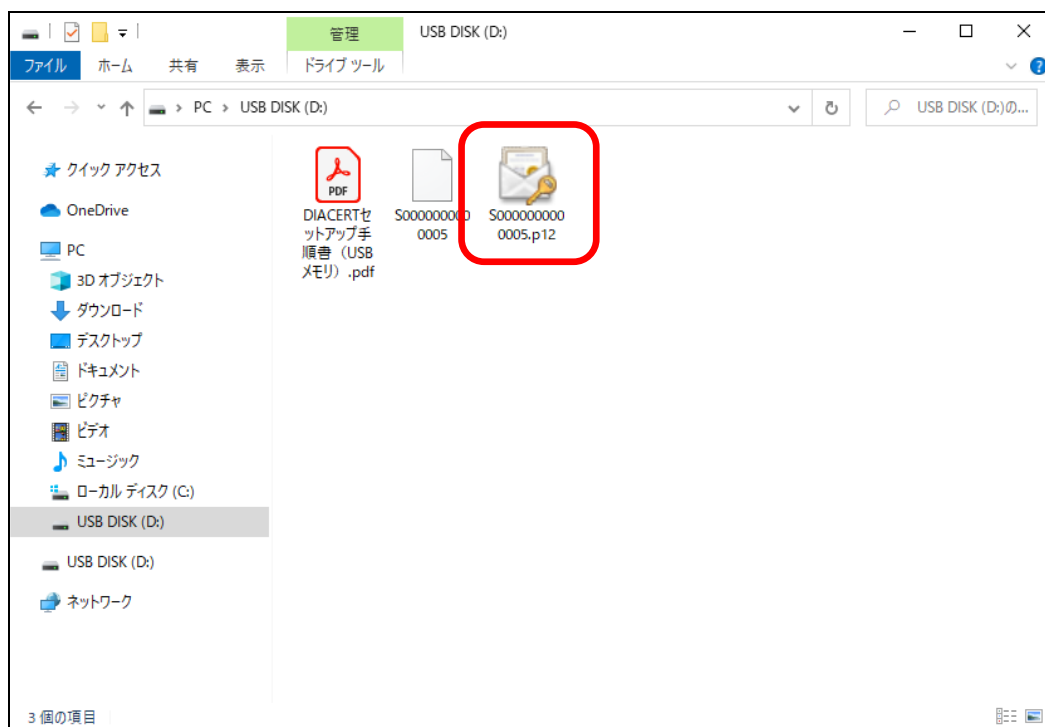
2. [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。

※ 下の画面が自動で開かない場合は [PC] → [USB DISK] と選択してフォルダーを開いてください。



3. 電子証明書ファイル（下記のアイコンのファイル）をダブルクリックします。

※ 鍵のマークが描かれたアイコンが電子証明書ファイルです。拡張子のない白いアイコンのファイルは弊社の管理番号名であり、お客様がご使用いただく必要はありません。



4. [次へ] をクリックします。

← 証明書のインポート ウィザード

証明書のインポート ウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

保存場所

☒ 現在のユーザー (C)

☐ ローカル コンピューター (L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ (N) キャンセル

5. [次へ] をクリックします。

← 証明書のインポート ウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名 (F):

D:\\$0000000000000005.p12 参照 (R)...

注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:

- Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, .P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ (N) キャンセル

6. PINコード通知書に記載された数字6桁のPINコードを入力し、[次へ] をクリックします。

証明書のインポートウィザード

秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):

パスワードの表示(D)

インポートオプション(O):

☐ 秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

☐ このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にする。

☐ 仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(P)

☒ すべての拡張プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

7. [次へ] をクリックします。

証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

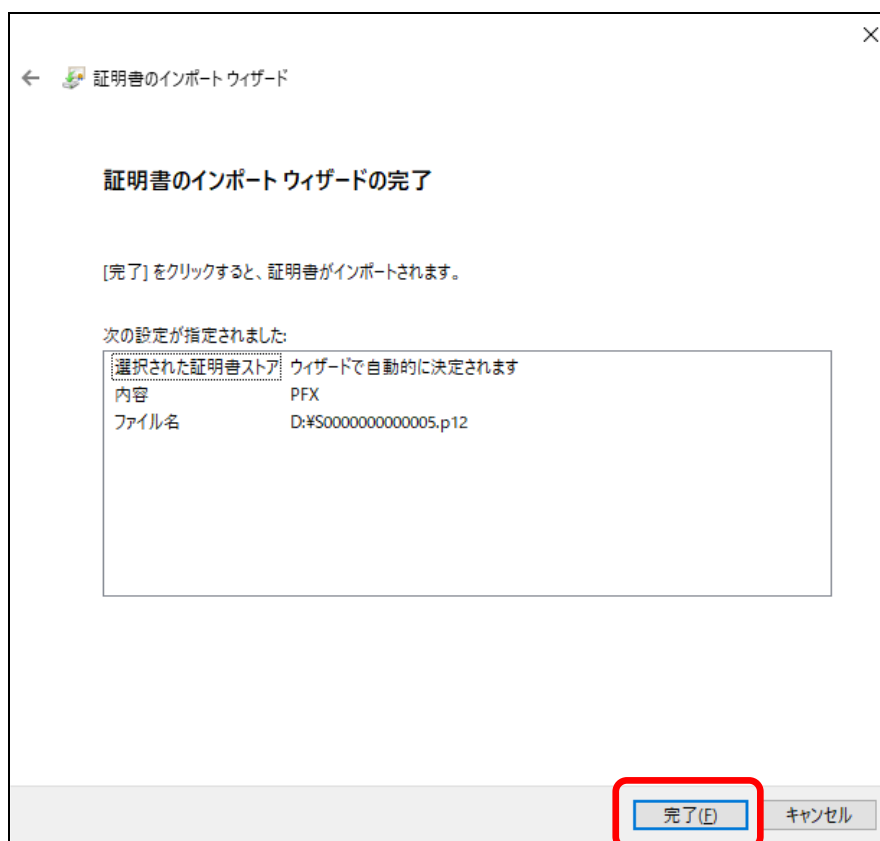
☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

8. [完了] をクリックします。



9. [セキュリティ警告] が表示された場合は、[はい] をクリックします。

※ 過去に電子証明書をインポートしたことがあるパソコンでは、こちらの [セキュリティ警告] の画面は表示されない場合もございます。



10. [OK] をクリックします。



以上で設定は完了です。

3 電子証明書の内容確認

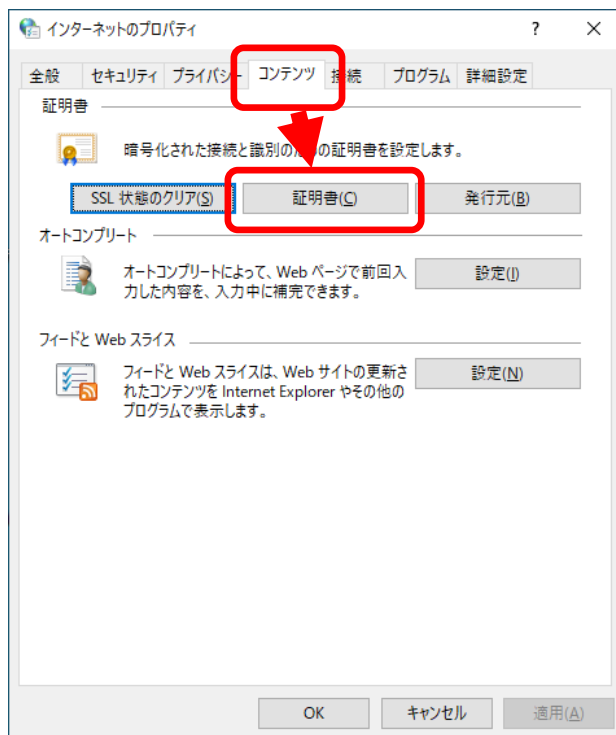
電子証明書に格納されているお客様の情報を確認する場合に、本章をご確認ください。

「2 電子証明書のインポート」の手順を事前に実施いただく必要があります。

1. デスクトップ画面の [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システムツール] から [コントロールパネル] を開きます。
2. [表示方法] から [大きいアイコン] を選択し、[インターネットオプション] をクリックします。

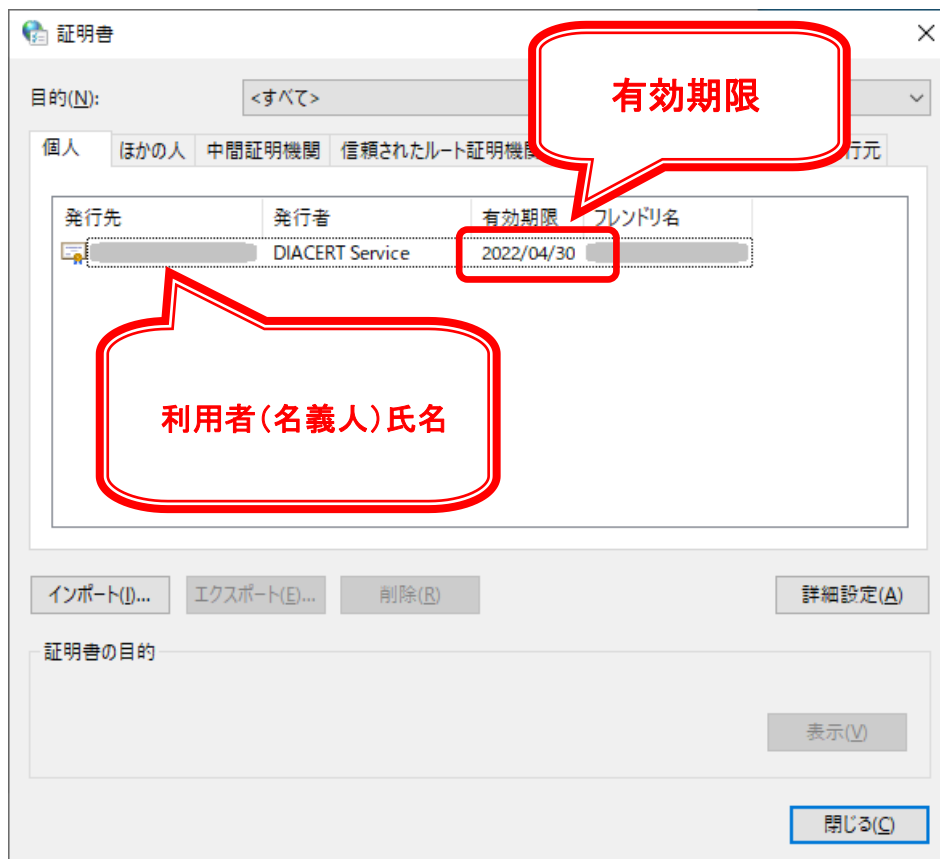


3. [コンテンツ] タブをクリックし、[証明書] をクリックします。

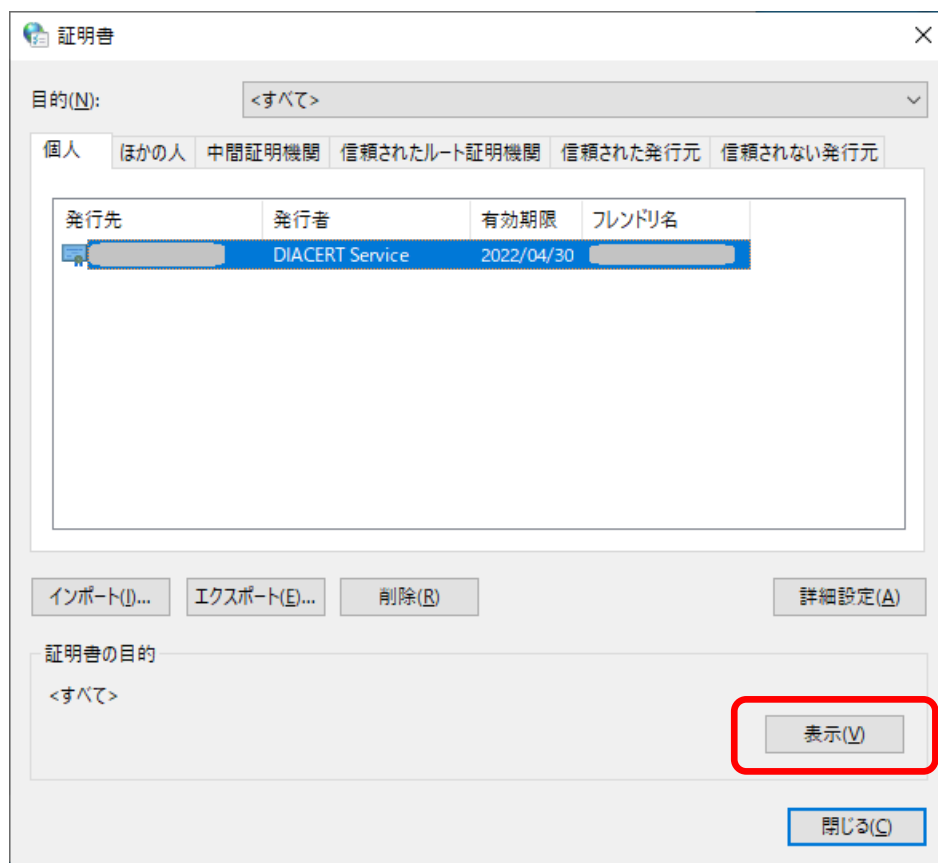


4. インポートした電子証明書の情報を確認します。

- [発行者] が [DIACERT Service] の電子証明書が本サービスで発行された電子証明書です。
- [発行先] にお申込みいただいた電子証明書の利用者（名義人）の氏名がローマ字で表示されます。
- [有効期限] もこちらの画面からご確認いただけます。



5. インポートした電子証明書をクリックして選択し、[表示] をクリックします。



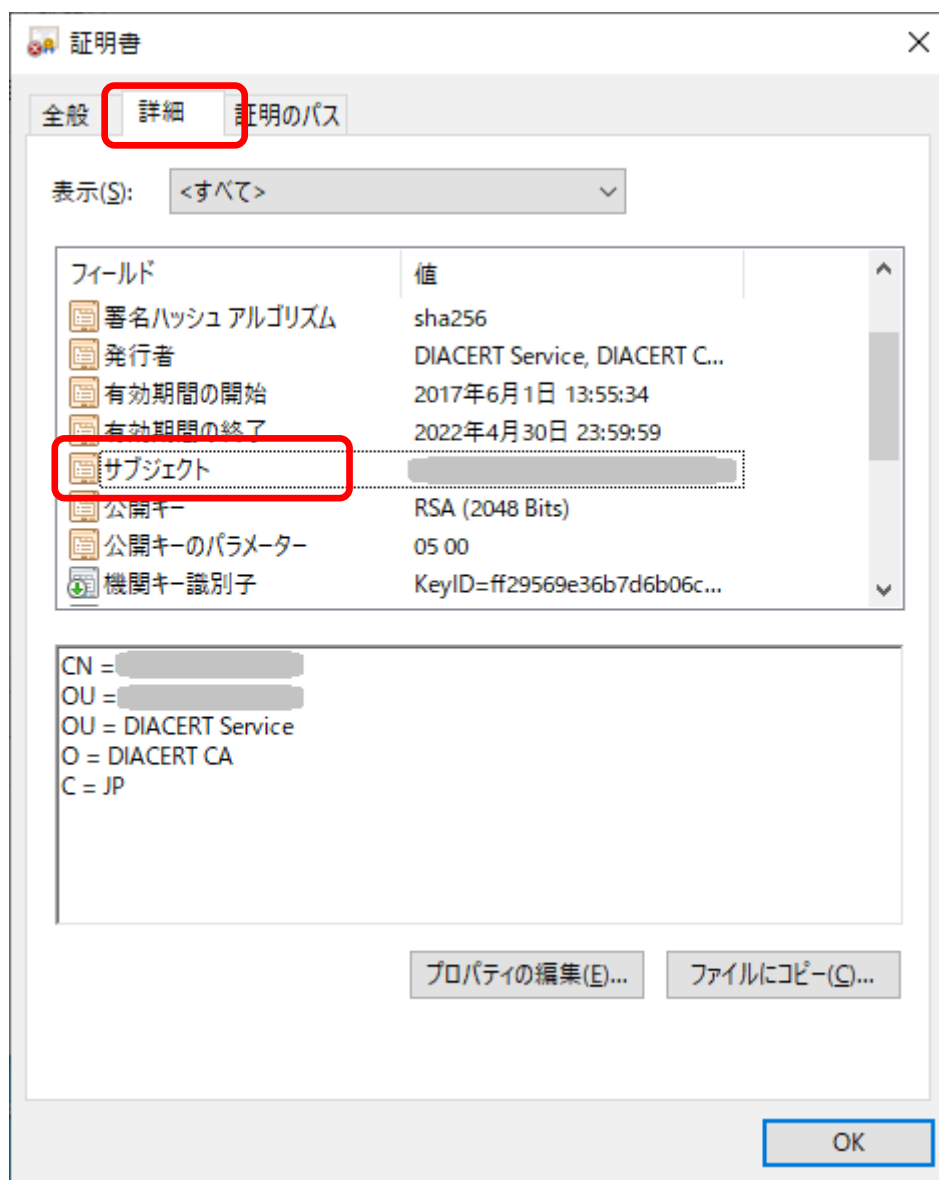
ご確認ください。内容に応じて下記の節を参照ください。

- ご利用者様の氏名（ローマ字）、証明書番号を確認する場合 ⇒ [3-1 節](#)
- ご利用者様の氏名（漢字）、組織情報を確認する場合 ⇒ [3-2 節](#)

3-1 ご利用者様の氏名（ローマ字）、証明書番号を確認する場合

1. 「詳細」タブをクリックし、画面を下にスクロールして「サブジェクト」をクリックします。

※ 画像は一例です。お客様により表示される情報が異なります。



2. キーボードの[Print Screen] キー（もしくは[Prt Sc] キー）を押します。
※ ノート PC などのキーボードでは、[Fn] キーを押しながら [Print Screen] キー（もしくは[Prt Sc] キー）を押す必要がある場合もあります。
3. Word、Excel、ペイントなどの文書編集ソフトや画像編集のソフトを起動し、コピーした画像を貼り付け、保存します。

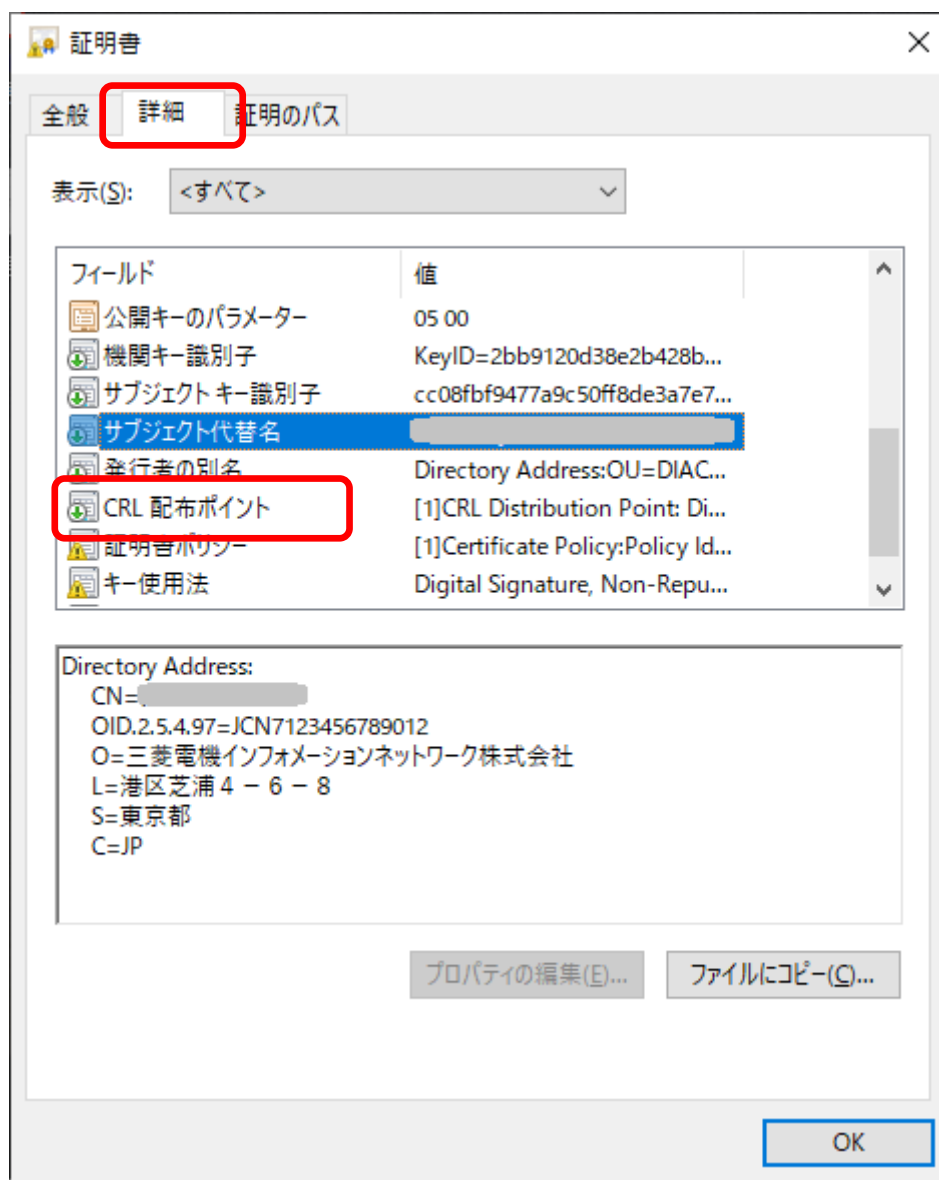
以上で操作は完了です。

3-2 ご利用者様の氏名（漢字）、組織情報を確認する場合

お申し込みいただいた電子証明書の種類により表示される情報が異なります。DIACERT カテゴリ A 電子証明書の場合はご利用者様の氏名（漢字）と組織情報が表示されます。DIACERT カテゴリ B 電子証明書の場合はご利用者様の氏名（漢字）のみが表示されます。

1. 「詳細」タブをクリックし、画面を下にスクロールして「サブジェクト代替名」をクリックします。

※ 画像は一例です。お客様により表示される情報が異なります。



2. キーボードの[Print Screen] キー（もしくは[Prt Sc] キー）を押します。
※ ノート PC などのキーボードでは、[Fn] キーを押しながら [Print Screen] キー（もしくは[Prt Sc] キー）を押す必要がある場合もあります。
3. Word、Excel、ペイントなどの文書編集ソフトや画像編集のソフトを起動し、コピーした画像を貼り付け、保存します。

以上で操作は完了です。

本製品は原則日本国内でのみご使用ください。

本製品は外国為替および外国貿易管理法で規制される貨物・技術に該当します。本製品を輸出(日本国外への持ち出しおよび)非居住者へ技術を提供する場合も含む)する場合は、同法に従い日本政府の輸出許可または役務取引許可が必要です。

米国等国外へ持ち出し、持ち帰る場合は当該国の法律に基づき許可が必要な場合があります。

本製品に含まれるアルゴリズムに関する特許については、日本国外においては保証いたしません。